

## 令和3年度 経営協議会（第6回）議事要録

日 時 令和4年3月11日（金）13時30分から14時45分

場 所 3号館2階第1会議室

出席者 【委 員】 森迫学長（議長）

赤松委員、位高委員、奥村委員、京藤委員、材木委員、鈴木委員、  
西本委員、古川委員

小野委員、吉本委員、小酒井委員、乾委員、日高委員（Web出席）、  
堤委員、寶珍委員、亀井委員

【陪席者】 清水顧問（Web出席）、佐藤監事、滝口監事、

監査室長（Web出席）総務企画課長、人事労務課長、会計課長、  
施設環境安全課長、入試課長（Web出席）

議事に先立ち、令和3年度第5回経営協議会の議事要録について確認が行われた。

### 議題1. 国立大学法人京都工芸繊維大会計規程等の一部改正について

小酒井人事労務・財務担当理事から、議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 議題2. 令和3年度決算における目的積立金相当額の執行（繰越）計画について

小酒井人事労務・財務担当理事から、議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

本件に関し、委員より以下の意見があった。

・令和2年度決算に係る目的積立金申請額と令和3年度決算に係る目的積立金相当額（見込額）について、相当な額の差があるのはなぜか。

→令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により執行額が少なかったことに加え、基盤研究費の学内繰越を認めていたが、令和3年度から学内繰越を廃止するため、目的積立金相当額は減少すると見込んでいる。

### 議題3. 令和4年度当初予算について

小酒井人事労務・財務担当理事から、議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

本件に関し、委員より以下の意見があった。

・研究活性化や研究支援に重点を置いているという理解でよいか。また、「法人戦略枠」という予算フレームは本学独自の取り組みか。

→研究力がアップしてこないと大学の魅力に繋がらないと考えている。そのための取り組みの一環として本学独自の「法人戦略枠」を創設した。

・スペースチャージは、基礎的なスペースにも課金するのか。むしろ特別なスペースについて課金するという考えもあるのではないか。

→現在は目的積立金で建物補修に対応できるが、長期スパンで考えたときの財源捻出を考え、教員が占有する基礎的なスペースに課金することにした。若手研究者が今後本学で研究を始めるにあたって、スペースは確保しておかなければならないと考えており、スペースの割り当て等についても整理を進めている。

・今後エネルギーコストが上昇すると思う。予算確保はどのように考えているか。検討していただきたい。

→今後検討を進めていきたい。

#### 議題4. 令和2年度監事意見に対する取組状況について

森迫学長から、議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 報告事項1. 令和4年度一般入試の出願状況について

堤入試担当特命理事から議案書に基づき報告があった。

#### 報告事項2. 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

森迫学長から議案書に基づき報告があった。

議事に先立ち、令和3年度第5回経営協議会の議事要録について確認が行われた。

#### 配付資料

資料1 令和3年度第5回経営協議会議事録（案）

資料2 国立大学法人京都工芸繊維大学会計規程の一部改正について（案）

資料3 令和3年度決算における目的積立金相当額の執行（繰越）計画について（案）

資料4 令和4年度当初予算について（案）

資料5 令和2年度監事意見に対する取組状況について（案）

資料6 令和4年度一般入試の出願状況について

資料7 京都工芸繊維大学の新型コロナウイルス感染症対策について

参考資料令和3年度経営協議会スケジュール等

#### 別添資料

- ・「新聞記事」